

AMERICA



OVERSEAS
LANGUAGE AND
CULTURE COURSE

海外事情

本学の科目「海外事情」は夏期短期海外留学であり、提携校公認の単位付き海外語学研修です。実際に海外へ赴き、本学と国際交流協定を結んでいる海外の学校において語学研修を行うとともにその国の文化や歴史などを体験することによってグローバルに活躍する人材を育成します。

ポートランド州立大学 PSU への留学

英語を身につけ、グローバルな視野を。

基本的英語力をさらに実践的に使うことを目的とした、英語圏の国アメリカ合衆国での短期間の集中英語研修です。ポートランド州立大学は、アメリカ合衆国オレゴン州ポートランドにある州立大学です。広大なキャンパスは、美しい街として有名なポートランドの中心地にあり、オレゴン州で最大の学生数が在籍すると共に、同州最大のビジネス・スクールと大学院を有します。研修の午前は英語授業、午後は現地の学生とのボーリングや、アメリカ企業見学等のアクティビティが盛り込まれております。また約3週間の滞在はホームステイとなっており、生きた英語を肌で感じながら学ぶことができます。

面積は日本の25倍！ 大都会と大自然が共存する国。

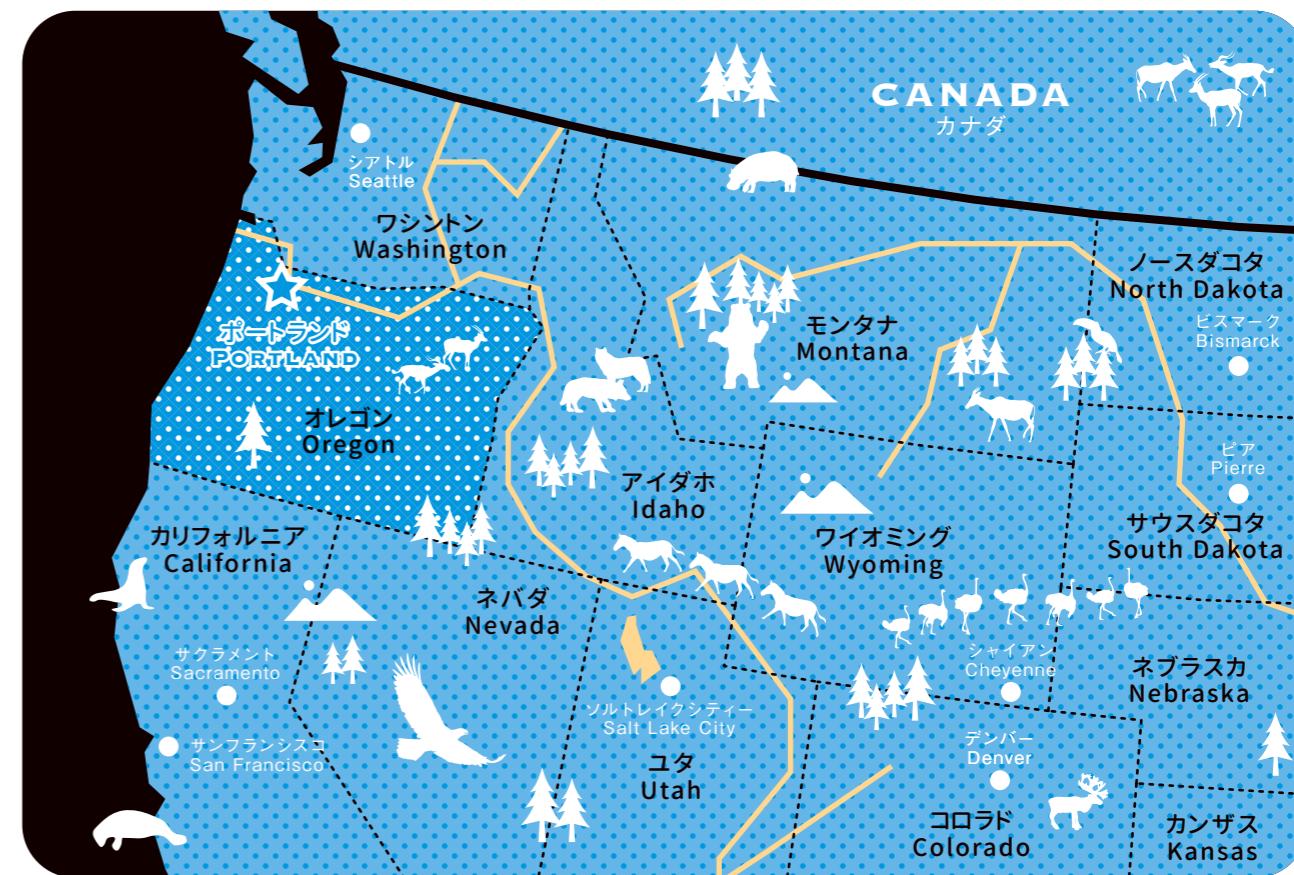
アメリカ合衆国は50州からなる連邦国で、面積は約962万8,000キロ平方メートルという日本の約25倍もの大きさがあります。人口は約3億2,100万人であり、各州が自治権を持ち、地域によって雰囲気の違いがあります。民族構成は白人が約72%、アフリカ系約13%、アジア系が5%弱、アメリカの先住民が1%などで成り立っています。

開講学部	経営情報学部 / 情報メディア学部 / 医療情報学部	
種別	選択	配当年次 : 1・2・3・4年
単位数	2単位	開催時期 : 夏期集中
評価	研修(「海外事情(アメリカ)」・2単位)の評価は、研修先での成績と、受講生が本学担当教員に提出するレポートにより総合的に判断する。	
留学先	ポートランド州立大学 (PSU) / 1825 SW Broadway, Portland, OR 97201 アメリカ合衆国	
電話	+1 503-725-3000	
日程	8月上旬～下旬(約23日間を予定)	
申込期間	5月下旬	参加人数 : 20名
参加資格	本学で英語を履修している全学生 及び通信教育部の正科生B	
参加費用	約430,000円※(そのほか、授業料は北海道情報大学が補助)	

2015年度 夏期アメリカ短期留学実施内容

	AM	PM	AM	PM
9日(日)		14:00 チェックイン	20日(木)	9:00 英語研修 13:00 ジェットボートツアー
10日(月)		18:00 ホームステイ先 到着	21日(金)	9:00 英語研修 13:00 自習
11日(火)	9:00 英語研修	13:00 ポートランド徒歩旅行	22日(土)	
12日(水)	9:00 英語研修	13:00 ポートランド発展委員会	23日(日)	ホストファミリーと過ごす
13日(木)	9:00 英語研修	13:00 ベリー摘み	24日(月)	9:00 英語研修 13:00 ボーリング
14日(金)	9:00 英語研修	13:00 自習	25日(火)	9:00 英語研修 13:00 アメリカの企業を訪問
15日(土)		ホストファミリーと過ごす	26日(水)	9:00 英語研修 13:00 ハイキング(ワシントン・パーク)
16日(日)			27日(木)	9:00 英語研修 13:00 ショッピング
17日(月)	9:00 英語研修	13:00 NW23rd 徒歩旅行	28日(金)	9:00 英語研修 修了式
18日(火)	9:00 英語研修	13:00 オレゴン科学産業博物館見学	29日(土)	ホストファミリーと過ごす
19日(水)	9:00 英語研修	13:00 日系レガシーセンター見学	30日(日)	帰国

※運航費、滞在費(ホームステイ代)、海外旅行傷害保険料などを含む概算金額です。そのほか、自分の小遣いなどが必要です。
※上記はすべて平成27年度の内容となっています。何卒ご了承ください。 ※留学先が変更になる可能性もあります。ご了承ください。



ポートランドってどんな街？

リベラルな感覚をベースに時間がゆっくり流れ、都市的な要素と自然がバランス良く共存する、理想的なコンパクトシティです。サステイナブルな暮らしが自然と根付いており、DIY精神を持った人が多く住み、アート、音楽などのカルチャーも盛んです。市街地にはバス、電車、路面電車の交通網が充実していますが、そこから車で15分ほど走れば豊かな自然が広がっています。また、ポートランドを語るうえで欠かせないのが食文化です。自然に近い立地を生かし、地元の有機野菜を使うレストランが多く、ファーマーズマーケットも盛んです。コーヒーカルチャーやクラフトビール、リーズナブルに世界各地の味が楽しめるフードコート(屋台)も盛り上がっています。ダイナミックで合理的なその独特なライフスタイルで注目を浴び、噂めば噂ほど味がでるユニークな都市です。

ポートランド州立大学<PSU>の特長

1946年ヴァンポート・エクステンション・センターとして創立し、1952年ポートランド市街地へ移転、1955年にはポートランド州立大学(PSC)と改称し、1969年にUniversityとしての認定を受け現在に至ります。オレゴン大学システム最大の大学として急速に成長し、「Princeton Review」誌は、「Best in the West」の一つにポートランド州立大学を挙げています。開学当初の伝統的な教養大学から米国を代表する研究大学へと成長を進めると共に、多くの分野において博士課程の需要が高まっており、近年では、数学、生物学、化学、情報工学、応用心理学、技術経営、社会学などの博士課程のプログラムが次々と設置されています。



PSU 担当者からの MESSAGE



ポートランド州立大学はアメリカ西海岸のオレゴン州ポートランド市の中心部に位置しており、8つの学院からなる120を超える学位プログラムを提供しています。全学生数は約28,250名、そのうち約2,250名の留学生を世界100カ国から迎えています。ポートランドは全米で住みやすい都市No.1にも選ばれたほか、環境にやさしい都市、自転車で移動しやすい都市、美食の街としても評価が高い都市です。安全でクリーンな街、ポートランドは、留学生活に適したアメリカ文化を体験できる最適なロケーションです。

左から、
プログラムマネージャー 座間さん、プログラムディレクター Mudiamuさん、
ESLインストラクター Zimmermannさん、ESLインストラクター Mylesさん

TEACHERS' MESSAGE



情報メディア学部
情報メディア学科
准教授
伊藤 一正

自分を大きく成長させる 一生に一度の体験を

アメリカ短期留学では、午前中にアメリカ人の先生から英語を学び、午後は現地の観光施設への訪問やレクリエーションを行います。オール・イングリッシュで会話やリーディングを行ったり、先生が町中で買物の仕方を実地で教えたりするなど、学びの幅広さが魅力です。また、ホストファミリーと一緒に現地の生活に密着した活動に参加します。一緒にパーティーをして、思い出に残る楽しい時間を過ごすなど、たくさんの得難い経験があります。できるだけ若いうちに海外に出ることは、自分を大きく成長させるものです。一生を左右する体験になることもあります。思い切って参加してみてください。

楽しく工夫された講義で 日常に直結した英語を学べた

私はもともと旅行が大好きで、2年生の時に友達とアメリカへ旅行に行って、英語とアメリカ文化について強く興味を持ったことが、留学を決めたきっかけです。留学中に特にコミュニケーションに支障は感じませんでしたが、カタカナ英語では通じないので、発音には気をつけました。講義は楽しく英語を学べるように工夫されていて、アメリカならではの日常会話での略語など、日本の教科書では学べないことも教えてもらいました。

自分だけを基準にしない 多様な視点をもつきっかけに

ホームステイ先では、ホストファミリーは優しく、みんなでBBQをしたり、よく遊びに来る子どもと遊んだり楽しい思い出ばかりです。日曜に教会へ行くなどの貴重な経験もできました。ホームステイ先が大学から遠いところにあったのは意外でしたが、そのおかげで海外の公共交通機関の利用の仕方を学ぶことができました。留学に行ったことで英語は上達しましたが、それ以上に価値観や考え方が変わりました。これから自分だけが基準ではなく、多様な視点から物事を考えていこうと思っています。

価値観や考え方が変わる体験を通して大きく視野が広がった

STUDENTS' VOICE



情報メディア学部
情報メディア学科
4年
真鍋 篤美さん

自分の意見が重要視される講義で、発言力が身につきました

家族のように迎えてくれた ホストファミリー

留学に興味を持ったきっかけは、3年次に受講した「英語表現」という講義です。そこで学んだことを使って、実際に英語圏の人とコミュニケーションをとってみたいと思うようになり、アメリカ留学に挑戦しました。現地では単語を並べて話したりジェスチャーをしたりするだけでもこちらの意図を汲み取ってくれ、コミュニケーションは語学力が全てではないということを知りました。授業では全てが英語で説明されるので、理解しようと常に頭がフル回転していました。ホームステイでは、お客さんとしてではなく本当の家族のように迎えられて驚きました。

意見を持ち、発言することの 大切さに気付かされた

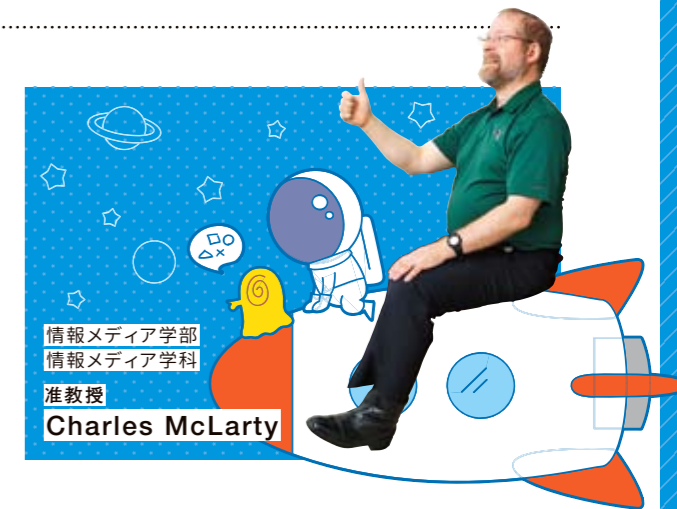
アメリカ留学に行ってから自分が変わったと思うのは、発言力がついたことです。PSUの講義では、ちょっとした話題でもそれについてあなたはと思う?と先生から聞かれ、一人ひとりの意見を大切にしてくれました。また、先生が指名するのではなく、学生に自主的に発言させることが多く、自発的に意見を述べることへの抵抗感が薄れ、積極的に話せるようになったと思います。



経営情報学部
先端経営
3年
大森 亮太さん

現地での実践経験が 自信につながる

アメリカ短期留学の特長は、ホームステイや実践的な英語の集中講座を受けながら、いろいろな体験を十分に楽しめることです。現地の学生とボウリングやビリヤードをして遊ぶなど、交流の機会も豊富です。もし留学を検討しているなら、覚えておいてほしいのは、留学先ではとにかく学んだ英語を実際に使ってみる積極性をもつことが大事だということです。失敗を恐れずに思い切って現地の人とコミュニケーションをとることは、お金では買えない貴重な体験です。そうすればきっと、みなさんの先輩のように、海外留学へ行く前よりも自分の英語に自信を持って帰ってこられるはずです。ぜひ検討してみてください。



情報メディア学部
情報メディア学科
准教授
Charles McLarty



北海道情報大学でアメリカを感じる国際イベント

TEDxHIU

北海道情報大学は日本で9番目にTEDxUniversityイベントを開催した大学です。開催するためには、TED本部(カナダバンクーバー)からライセンスの取得が毎年必要であり学生がTED本部に申請し取得しています。2013年、2014年と開催してきたこのTEDxHIUは、2016年もライセンスを取得することができ、開催する許可が下りている状況です。このイベントは学生が主体となって実施するものですので、ぜひスタッフになってこのイベントを盛り上げてください。

“TED”“TEDx”とは

「価値あるアイデアを広める」ための非営利組織、それが“TED”です。そしてその体験を共有するため、2009年から始まり、いまやこのイベントが開かれていない国はないと言っても過言でなく、各国で自主的に開かれるイベント、それが“TEDx”です。“TED”は25年前にカリフォルニアで初のカンファレンスが開かれて以来、世界を牽引する多彩なトップランナーたちが、すぐれたアイデアを発表してきました。そのスピーチは、TED.comで閲覧できます。